NIE実践報告

1．タイトル：☆企業の社会的責任

2．学校名

新潟県立新発田商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

南部泰正

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

商業　41人

6．単元（本時の学習課題）名

「企業が社会的責任を全うするために」

7．目標（狙い）

企業を取り巻く環境の変化を踏まえ、経済社会の一構成要素としての企業責任について理解し、グループ内での意見交換を通して企業が社会的責任を全うするための方法を模索する。

8．評価の視点

「企業の社会的責任」に関する新聞記事を収集し、それを元に自分の意見を組み立て発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「企業の社会的責任」（教科書教材：実教出版）4時間
「企業が社会的責任を全うするために（討議・発表）」2時間　　合計6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①企業の社会的責任について教科書、資料を通して学習する。（4時間）
※上記の間並行して企業の社会的責任について新聞記事を収集し、ワークシートを完成させる。
②作成したワークシートを元にグループ討議を行い、意見を集約し発表する。（2時間）

（留意点）
・企業の社会的責任が日常生活と離れたところにあるのではなく、個人の生活にも多大な影響を及ぼすことを常に意識させるよう留意する。
・教科書だけでなく新聞記事やインターネット、テレビ番組などを活用できるよう支援する。
・他人との意見の違いを認め、グループで結論を導き出すことができるよう手法を提示する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

ビジネス活動の諸問題においては、ベストプラクティスを導き出すことが難しいことに気づくことができた。またグループ発表された意見はみな当たり前のことであり、当たり前を持続することが企業の社会的責任の第一歩であることに気づいていた。

12．成果と課題

新聞記事の収集を契機に、生徒間の議論を通して「企業の社会的責任」について教科書での学習内容を特に内部環境の視点から補完することができ、企業の社会的責任に関する理解を深化させることができた。課題としてはタイムリーな新聞記事が入手できるかという点が挙げられる。